



《芦之窪神明宮》

鉢盛おろし

楽しい思い出

芦之窪神明宮の急で不揃いの石段は、山の中腹くらいまで続き、そこから先は急な坂道ですが真つすぐのびた参道があります。それらを上り切った先に小さな広場と小さな祠があります。自分が子どもの頃はこの場所を含め、山全体が格好の遊び場でした。皆で葉のついた枝をいっぱい集めてきて屋根や壁にして小屋を作り、床を柔らかく暖かそうなウルシの葉を敷き詰め秘密基地を完成させました。そして家に帰るまでその中で寝転んだり、突っつきあったりして遊びました。次の日、一緒に遊んだ友達全員が学校を休み、ウルシはかぶれるものだと学びました。またある時には愛車の5段変速スポーツ自転車を山のかなり上まで押し上げて、細い山道を一気に下るダウンヒルを楽しんでいました。こちらも、当然のことながら体も自転車もボロボロになり、親にも叱られた覚えがあります。他にもいろいろとありますが、今でも忘れられない楽しかった思い出が詰まっている場所です。

最近では、整備された公園でも危ないとされた遊具は撤去されてしまい遊びの幅も狭まってしまい、外遊びをする子どもたちも昔より減っているような気がします。しかし、いろいろな制限のある中でもその時代にあった時間の過ごし方、楽しみ方を見つければ、そして満足できればとても幸せだと感じます。少子化と言われているなか、少しでも子どもが元気に飛び回り、楽しく遊べる環境になれば良いですね。



公民館長
清澤 正文

年頭のご挨拶

新年あけましておめでとう
ございます。

皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

公民館を代表し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染の

早い収束(終息)を願うばかりでありましたが、次から次へと波が押し寄せ変異株に翻弄された日々が続いた年でございました。しかし、ワクチン効果、オミクロン株の重症化率の低下等もあり、マスクを外しての屋外活動の規制緩和があり、公民館関係者は、公民館活動の原点である「集う・学ぶ・結ぶ」ことへの場を創意工夫しながら保証するように努めてまいりました。

コロナ感染予防や少子高齢

化社会となり、「集まる機会が

減り、地域の共同意識がうすれ、つながりが希薄になった」とよくお聞きします。公民館関係者は悩んでいるところでございます。

昨年「公民館在り方検討委員会」が立ち上がり、これからの公民館の在り方を検討しており、今後の公民館活動の見直し等も含め、より一層充実した公民館になると思います。

これからも、感染リスクが全くなくなることは当面考えられないのではないのでしょうか。感染症と共に生きていく

社会を作るため、感染及びその拡大のリスクを可能な限り低減させながら、どのような状況下にあっても、公民館に学びの場を設けていく方法を考えていきたいと思っております。

村民の皆様のみならずのご指導・ご協力と、ご参加を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。



教育長
百瀬 司郎

新年のご挨拶

新年明けましておめでとう
ございます。

皆様におかれましては、ご家族お揃いで、穏やかなお正月をお迎えのこととお慶び申し上げます。

年頭に当たり、教育委員会を代表して謹んで新年のご挨拶を

申し上げます。

コロナの猛威は昨年も衰えを見せず社会生活に大きな影響を及ぼしていますが、公民館はじめ美術館、図書館等では村民の皆様のご協力を賜り、少しずつ活動を拡大展開することができました。

公民館活動では、長寿を祝う会やジョギング大会等はこれまでのようにはできないため、形を変えて実施をさせていただきました。

特に、皆様から役員の負担軽減、分館対抗のあり方などの面

で見直しの要望が高かった体育

祭については、従来の運動会をやめて、誰でも参加し楽しめるスポーツ体験型の方式に替えて行いました。当日は室内でのソフトテニス、モルック等の種目に大勢の皆さんが親しむことができました。新たな体育祭の方向性が見えたことが大きな成果でした。さらに、公民館活動については今後のあり方を現在検討しているところです。

20周年を迎えた朝日美術館では、昨年土偶おなまえ選手権を開催し、八百名近い皆さんに

よる投票により「とりばっち」「くるっち」という名前が決まりました。

大正11年にできた図書館は今年開館百周年を迎えます。村の先人の方々の書物に親しむ志を受け継ぎ本に接する機会を増やせるよう工夫したいと思っております。今後とも引き続き皆様方のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様の益々のご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。年頭のご挨拶とさせていただきます。

2022年を振り返ろう

2022年は、「新型コロナの蔓延・変異株での感染拡大」「ロシアのウクライナ侵略」により、経済・物流への影響がさらに拡大し、安部元首相殺害を発端に、宗教と政治の問題点も明るみになった年でした。振り返って見ましょう。

◆朝日村の出来事

◆国内の出来事

- ◆西洗馬分館「元旦マラソン」開催
- ◆消防団出初式
- ◆朝日村旧役場庁舎解体工事開始

1月

- ◆慶応大iPS細胞で世界初の脊髄治療
- ◆大学入学共通テスト問題流失

- ◆村議会議員補欠選挙投票開票
- ◆朝日村社会福祉協議会との「災害ボランティアセンター設置・運営等に関する協定書」調印式

2月

- ◆冬季五輪北京大会、日本勢は計18個のメダル獲得
- ◆新型コロナ感染者、1日あたり10万人超え

- ◆塩尻コミュニティーラジオ災害協定調印式
- ◆朝日村旧役場庁舎解体工事完了

3月

- ◆冬季パラ北京大会、日本勢は計7個のメダル獲得
- ◆東電管内で初の電力需給逼迫警報、節電協力要請

- ◆あさひ保育園入園式開催
- ◆朝日小学校入学式開催

4月

- ◆改正民法施工、成人年齢18歳に引き下げ
- ◆北海道知床観光船沈没事故、20人死亡6人行方不明

- ◆分館運営委員研修会開催
- ◆越川 豪副村長就任
- ◆御馬越地区等住民向け、小水力発電調査説明会開催

5月

- ◆沖縄本土復帰50年
- ◆山口県阿武町が給付金4,630万円を誤振込

- ◆朝日小学校運動会開催
- ◆鎖川ジョグ・ウォーク開催
- ◆横出ヶ崎地区対象、土砂災害防災訓練開催

6月

- ◆ボクシング井上尚弥、世界3団体統一王者に輝く
- ◆小惑星リュウグウ石砂からアミノ酸23種発見

- ◆朝日村消防団ラッパ班、松本地区大会初優勝(6月)、県大会3位入賞
- ◆参議院通常選挙投票開票

7月

- ◆KDDI、全国で過去最大級の通信障害
- ◆選挙演説中の安部元首相が撃たれ死亡、9月に国葬

- ◆お夏まつり、花火の祭典のみで開催
- ◆鉢盛山登山マラソン大会・ヤマメ釣り大会開催
- ◆長野県知事選挙投票開票

8月

- ◆大谷翔平、104年ぶりの2桁勝利・2桁本塁打
- ◆東京五輪汚職、組織委員会元理事ら逮捕

- ◆ウクライナへの支援を兼ね、朝日村大博覧会開催
- ◆朝日美術館開館20周年記念事業「俊介忌」開催
- ◆朝日村戦没者慰霊祭開催

9月

- ◆3歳女兒、通園バスに取り残され、熱射病で死亡
- ◆日中国交正常化50年、11月に3年ぶりの首脳会談

- ◆あさひ保育園運動会・朝日小学校音楽会開催
- ◆朝日村体育祭「スポーツフェスティバル」開催
- ◆村民ゴルフ大会開催

10月

- ◆北朝鮮、異例の頻度でミサイル発射繰り返す
- ◆32年ぶりの円安水準更新、値上げラッシュ

- ◆朝日村文化祭・表彰式開催
- ◆古見分館「モルック大会」開催
- ◆JA野菜生産販売実績検討会開催・Aコープあさひ店閉店

11月

- ◆旧統一教会、高額寄付被害・政治家との接点で問題化
- ◆政府の有識者会議、5年以内に防衛力強化を提言

- ◆針尾分館「写真展」開催
- ◆AYTでサンタの洞窟、わくわく館でクリスマス会開催
- ◆民生委員・児童委員、主任児童委員委嘱

12月

- ◆サッカーW杯で日本代表熱戦、ベスト16
- ◆高額寄付被害救済・防止法が成立
- ◆ボクシング井上尚弥、世界4団体統一王者に輝く

2022年の漢字

その年の世相を漢字一文字で表す「今年の漢字」。2022年は「戦」が選ばれました。それは、暗い面では「終わりが見えないロシアのウクライナ侵略戦争」「新型コロナ・円安・物価高など生活の中での戦い」、明るい面では「いろいろなスポーツで日本人が活躍し、熱戦が繰り広げられた」ことが理由となったようです。

戦

～朝日村の人口・世帯数～

(前年比)
 人口 4,359人(-46人)
 男性 2,136人(-25人)
 女性 2,223人(-21人)
 世帯数 1,544戸(+11戸)
 (2022年12月31日現在)

～今春、統一地方選挙が行われます～ 「明るい選挙」について考えましょう!!

今年、元号が令和になって初めての統一地方選挙として村長選挙と村議会議員一般選挙が、4月18日告示、23日投票で行われる予定と、村選挙管理委員会事務局にお聞きしました。

そこで、改めて選挙の意義やこれまでの投票率について調べてみました。

村には、公民館長を会長とした、「朝日村明るい選挙推進協議会」が設置され、2月15日には「明るい選挙推進住民大会」が開催されるなど明るい選挙を推進しています。

「明るい選挙」とは、「有権者が主権者としての自覚を持って進んで投票に参加し、選挙が公明かつ適正に行われ、私たちの意思が正しく政治に反映される選挙」とのことです。

私たちが住む朝日村も、あくまでも主権は私たち村民にあります。代表民主主義の国家において、選挙によって選ばれた代表によって村づくりが行われます。

そこで、選挙は村民が村づくりに参加する最大の機会だと思えます。ここで、過去

5回の投票率を確認してみると、昭和50年以降の投票率は、平成11年までは90%を超える投票率でしたが、直近5回は表のとおり、毎回投票率が減少しています。

朝日村長選挙・村議会議員選挙 投票率の推移 (表)

年	村長選挙	村議会議員一般選挙	議員定数／立候補数
H15	87.25%	87.25%	12人／14人
H19	85.00%	84.95%	10人／12人
H23	無投票	73.11%	10人／11人
H27	73.18%	無投票	10人／10人
H31	68.81%	無投票	10人／10人

出典：朝日村選挙管理委員会

私たちは、村づくりや選挙に関心を持ち、立候補者の人物や政策をしっかり確認し、大切な自分の一票を進んで投票することが重要だと思えます。

また、平成27年の公職選挙

法の改正では、選挙年齢が満20歳以上から、満18歳以上に引き下げられています。少子高齢化が進む中、朝日村の未来をどう切り拓いていくか考える良い機会だと思えます。ぜひ多くの若者に選挙に参加してほしいと思います。

さらに、選挙に参加する権利を持つことは大変重要と感じています。こういった選挙を通じて、村の福祉や経済や教育など様々な分野について、朝日村の現状はどうなっているのか、どんな課題があるのか、将来はどうしていけばよいのか、誰かに任せるとはではなく、一人一人が考え、有権者として村づくりに参加していくことが必要だと感じます。

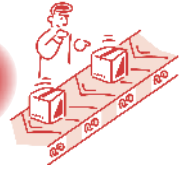
村事務局にお聞きすると、投票制度には、選挙期日前であっても、選挙期日と同じく投票を行うことができる「期日前投票」や仕事などで選挙期間中に村外の自治体に居住（滞在）している場合は、居住（滞在）先の自治体の選挙管理委員会でも投票ができる制度などもあるそうです。詳細は、村選挙管理

委員会にお尋ねください。また同じく統一地方選挙として4月9日には、長野県議会議員一般選挙も行われるとの事です。どちらも身近で重要な選挙となりますので、ぜひ投票に行きましょう!!





おらが村の地元職 9



おまかせまっちゃん

朝日小学校すぐそばにある「おまかせまっちゃん」は、店主の白木まち子さんが2011年に始め、今年の6月で丸12年となる飲食店です。お店の名前はご本人のニックネームからとり、馴染みの常連さんからも「まっちゃん」と呼ばれ親しまれているそうです。

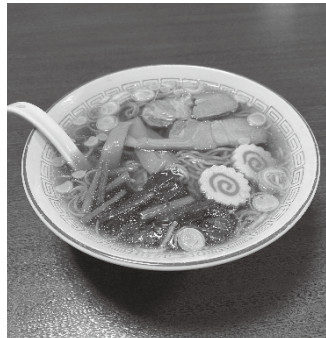
お店を始めたのは、以前同じ場所です飲食店を営んでいたご両親が作った餃子や山賊焼きの味を受け継ぎ、もう一度みんなに食べて欲しいと思ったことがきっかけだそうです。美味しいと言ってもらえることがやりがいにもなり、10年以上も続けてこられたとのこと。

お店では定番メニューである餃子や山賊焼きのほか、そのときに仕入れた食材を使ったおすすめの商品もあり、毎日違ったメニューで季節を味わうことができます。

メニューにない料理でもご要望があれば、おまかせください、とのこと。地元の食材も多く使った料理を堪能できる飲み処、一度足を運んでみてはいかがでしょうか。



店内の様子



昔ながらのラーメン



好評の山賊焼きや餃子、盛り合わせ

【連絡先】
おまかせまっちゃん

☎ 99-4530

〈営業時間〉17時30分～22時30分
※定休日 火・金曜日

清沢土建株式会社

清沢土建株式会社は、昭和8年9月に清沢組代表清澤玉輝氏において創業し、昭和28年7月に法人組織に変更し、昭和51年6月に現在の清沢土建株式会社を設立しました。

平成8年4月に現代表取締役役清澤由幸氏によって組織を変更し、本店を塩尻市に構え、朝日村に支店を置きました。

事業内容としては、建設、土木工事を中心とし、朝日村新庁舎建設や朝日村立あさひ保育園建設、小野沢幹1号線の舗装工事、向陽台住宅団地の造成工事も手掛けています。

その他、造園、除雪作業、凍結防止剤散布など、多岐にわたって事業をしています。

会社の経営理念である「責任と信頼」「カタチに残す」、を使命であると考え、自然との共存、環境との調和がとれた豊かな未来が50年後、100年後もずっと続くように、これからも「責任と信頼」を基盤に地域のため、人々の笑顔のために邁進していきます。

今後も、朝日村村民が安心して暮らせるように維持、建設を

していただけたらと思います。

【連絡先】

清沢土建(株)

朝日支店

☎ 99-2017

塩尻本店

☎ 53-5400



あさひ保育園



朝日村役場新庁舎



サラダの里通信

サンタの洞窟(Santa's Grotto)

12月17日(土)朝日村地域おこし協力隊の主催でAYTマルチメディアセンターのハイビジョンホールに「サンタの洞窟」が出現しました。リバプールのデパートが1879年に始めたのが起源とされていて、その後イギリス全国に広がったそうです。洞窟にはサンタクロースがいて、子どもたちは一年間どんなにいい子だったかを主張し、いい子なら「プレゼントは何がほしい」と聞いてもらえる、親は側においてそれを聞いて備える、という流れになっています。

当日はホールの外にまで行列が延びる盛況ぶり、子どもたちは目を輝かせながら、サンタさんと会えるのを楽しみに待っていました。テイクアウトマルシェやクリスマスワークショップも併設され、楽しいことが盛りだくさんのイベントとなりました。



サンタの洞窟から出てきた子どもたち

JA野菜生産販売実績検討会

11月25日(金)朝日村中央公民館講堂にてJA朝日支所の2022年度野菜生産販売実績検討会が行われました。検討会では来賓祝辞に続き、支所事業の報告が行われ、2022年度の生産販売状況と課題、そして次年度に向けた対策が発表されました。

今年度の販売金額は昨年度比で99%と微減となり、基幹品目であるレタスの単価下落が影響しました。6年連続でレタス類の調整廃棄が行われるなど、6月下旬から7月下旬の需要と供給のバランスが崩れる期間への対策は急務となっています。この期間における代替品目の模索や基幹品目の作付け・出荷時期の調整など、安定所得へ繋げるための施策が説明されました。



検討会の様子

西洗馬分館元旦マラソン

令和5年1月1日(日)、西洗馬分館で40年以上続く、元旦マラソンが快晴のなか開催されました。

今年も「走っている時以外のマスク着用」「開・閉会式等のセレモニーなし」「受付順にスタート」「ゴール後景品を受け取り流れ解散」等コロナ感染防止を考慮しての開催となりました。

参加者165人、それぞれのペースで家族と一緒に、楽しみなながらコースを一周し、気持ちのよい1年のスタートとなりました。



ゴール



コースと参加者

あさひ保育園 クリスマス会

12月23日(金)あさひ保育園でクリスマス会が開催されました。クリスマス会の最大の楽しみといえばサンタさんからのプレゼント。子どもたちが待つ部屋にやってきたサンタさんは、プレゼントが入った大きな袋をいくつも持っていて、子どもたち一人一人にプレゼントを手渡してくれました。もらったプレゼントはお家に帰ってから開ける約束ですが、子どもたちは中身が気になって仕方ないようでした。



プレゼントをもらう子どもたち



モルック体験(古見分館ふるさと研究会)



1～12までの数字が刻まれているスキットル



モルックを楽しむ参加者

10月27日(日)古見分館主催のモルック体験が、ゲートボール場で行われ、皆さん楽しんでいました。参加した方から、「マレットゴルフより、広い年齢層で行う競技としては、良いのではないか」との御意見が聞かれました。また古見分館長にお話しを聞くと、「小学生からご年配の方まで幅広く御参加いただき、楽しい時間を過ごせました。また、どなたでも参加していただける行事を、考えていきたいと思えます。」と感謝されていました。

宇賀神 拓也 写真展(針尾分館)

12月3・4日(土・日)針尾分館主催の【宇賀神 拓也 写真展】が針尾集落センターにて行われ、約50人の方が来場されました。宇賀神さんは現在、針尾に住まわれており、会場で行われたギャラリートークでは、朝日村の5千年の歴史に強く心惹かれると話されていました。主催した針尾分館長にコメントを求めると、「コロナ禍にもかかわらず、沢山の方の来場をいただき、感謝いたします。」とお礼を述べられました。

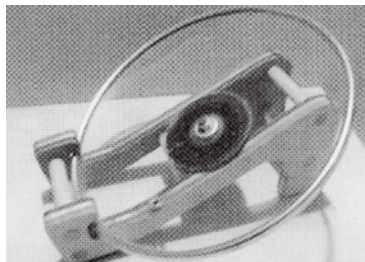


宇賀神さんの作品



宇賀神さんの作品

発明講座「くらしの中の発明」講演会(公民館講座)



銅蓋置き



側溝ちり取り

11月27日(日)中央公民館講堂にて、「くらしの中の発明」と題して、講師に、長野県発明研究会松本支部の横山憲司さんを招き、約15名の聴講者で講演会がすすめられました。後日、横山さんから発明のコツを聞き出そうとして電話をしましたが、「困り事の解決策を考え、具現化するだけです。」と静かに話されていました。

モルック体験ソフトバレーボール体験(公民館講座)

12月10日(土)マレットゴルフ場でモルック体験が、小学校体育館でソフトバレーボール体験が、公民館講座の一環として行われました。みなさんハッラツと体験されました。モルックの講師のスポーツ推進委員は、「モルックが今の朝日村で、一番のおすすめスポーツです。」とおっしゃっていました。また、講師のソフトバレーボールクラブの方にお話を聞きますと、「ソフトバレーは、幅広い年齢層ででき、年齢を越えたタテのつながりができる点が良いところです。」と良さを強調されていました。



モルックの参加者



ソフトバレーボールの参加者

公民館報編集委員募集のお知らせ

公民館報は長い歴史があります。その歴史は約70年続いております。先人たちが朝日村の歴史を紡いで来ました。小さな村の中の小さな出来事かもしれませんが、たくさんの喜びや希望、時には悲しみを記事として、そして事実として後世に残してきました。それは今を生きる我々にとって大きな学びとして託されたものです。

時代は移り変わり、その時その時で必要な変化がうまれます。公民館報編集委員も変化の時を迎えています。今まで各分館から選出された方に編集委員を担っていただけてきました。しかし、入三地区の分館活動休止に伴いその制度の見直しを考える時が来ています。

今後、その中で公民館報を継続していく為には各分館からの選出だけではなく、積極的に公民館報編集委員として活動したいと思ってもらえる方々に参加してもらおう事が公民館報の今後に繋がると思います。

公民館報では編集委員を幅広く募集します。文章を書くことが好きな方、編集をやりたい方、一緒に村の「今」を未来へ残していきませんか？

興味のある方は公民館報編集委員事務局までご連絡ください。

【公民館報編集委員事務局 ☎99-2004】

窓口情報

おくやみ

※本人の了承を得て掲載しています。

地区名	氏名	年齢	世帯主
一之沢	清沢 和男	83	清沢 敬子
スタービレッジ	栗津原武志	76	栗津原よしみ
北村	筒井 好蔵	100	筒井 常夫
下洗馬	中村 良子	91	中村 敏巳

地区名	氏名	年齢	世帯主
下洗馬	中村 泰久	83	中村 哲治
三ヶ組	熊谷 幸子	90	熊谷 良治
原新田	小林 宮子	81	小林 登



みんなのアトリエ



朝日小学校 1年1組

おおた ゆうと
太田 結斗さん
「くじらぐも」

クジラ雲の上ののっている人の服を色々変えて描きました。



朝日小学校 1年1組

こさか にな
小坂 仁奈さん
「くじらぐも」

クジラ雲ののっている人の着ている体操服が上手に描けました。



朝日小学校 6年1組

ドス・サントス・タリア・アイカさん
「古川寺」

色を混ぜて色々な色を作って塗りました。同じ色を使わないように工夫して塗りました。